

参照コーホートの生涯未婚率仮定の設定

コーホート合計特殊出生率

$$(1 - \text{生涯未婚率}) \times \text{夫婦完結出生児数} \times \text{離死別効果係数}$$

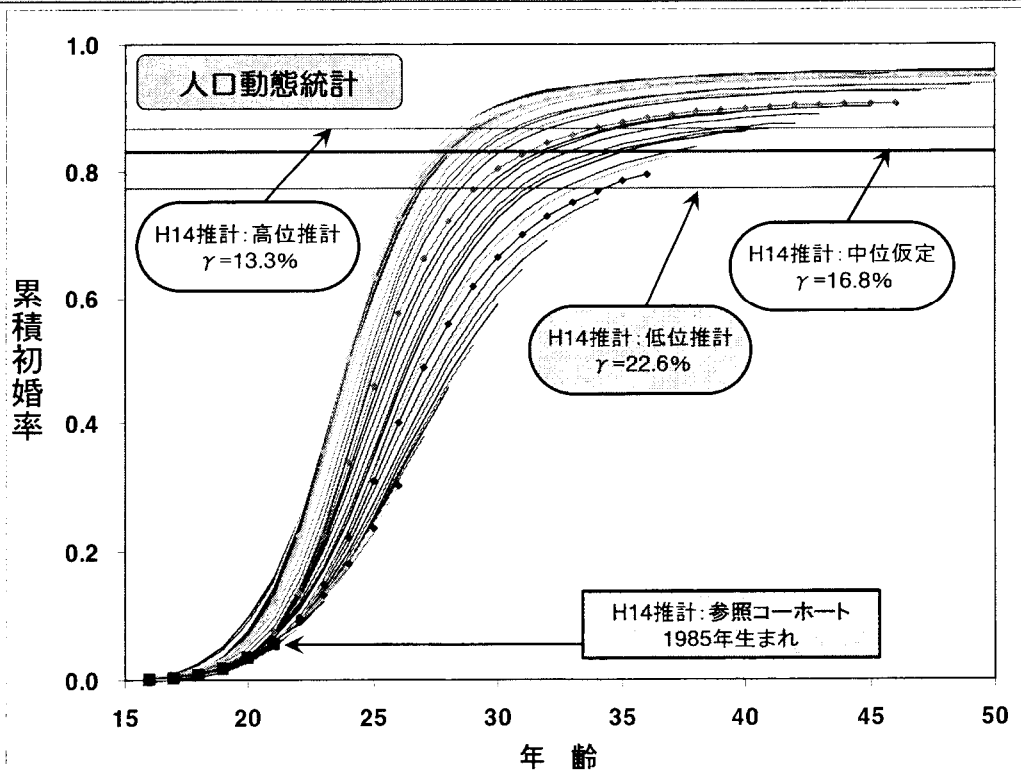
生涯に1度は結婚する女性の割合



コーホート合計初婚率

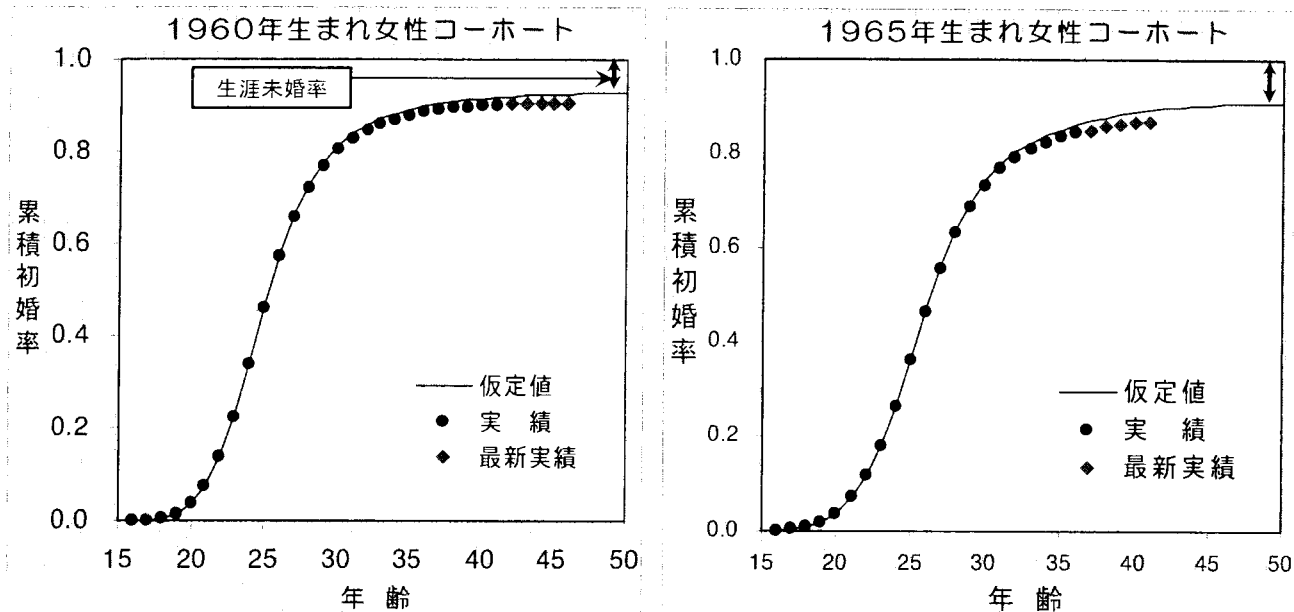
(50歳時累積初婚率)

コーホート累積初婚率:実績値の観察



累積初婚率：仮定値と実績値(※)の比較

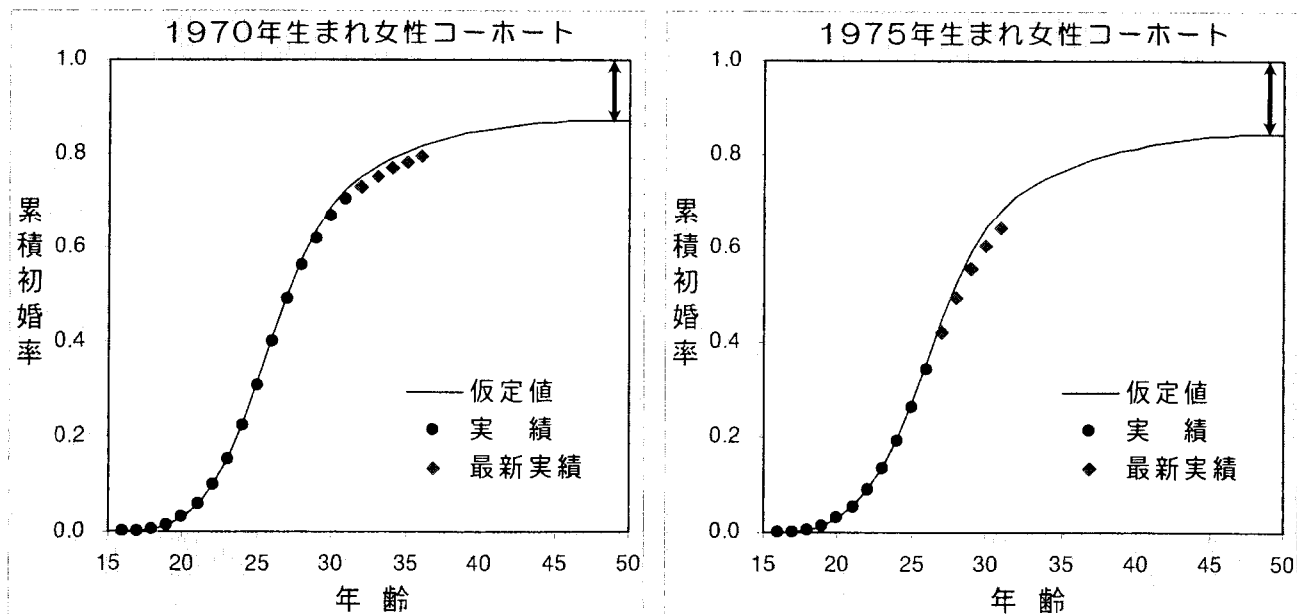
モデル = 一般化対数ガンマ分布モデル



※ 実績値は、新たに得られた届出遅れデータを元に再推定したものの。

参照コーホートの仮定設定：生涯未婚率

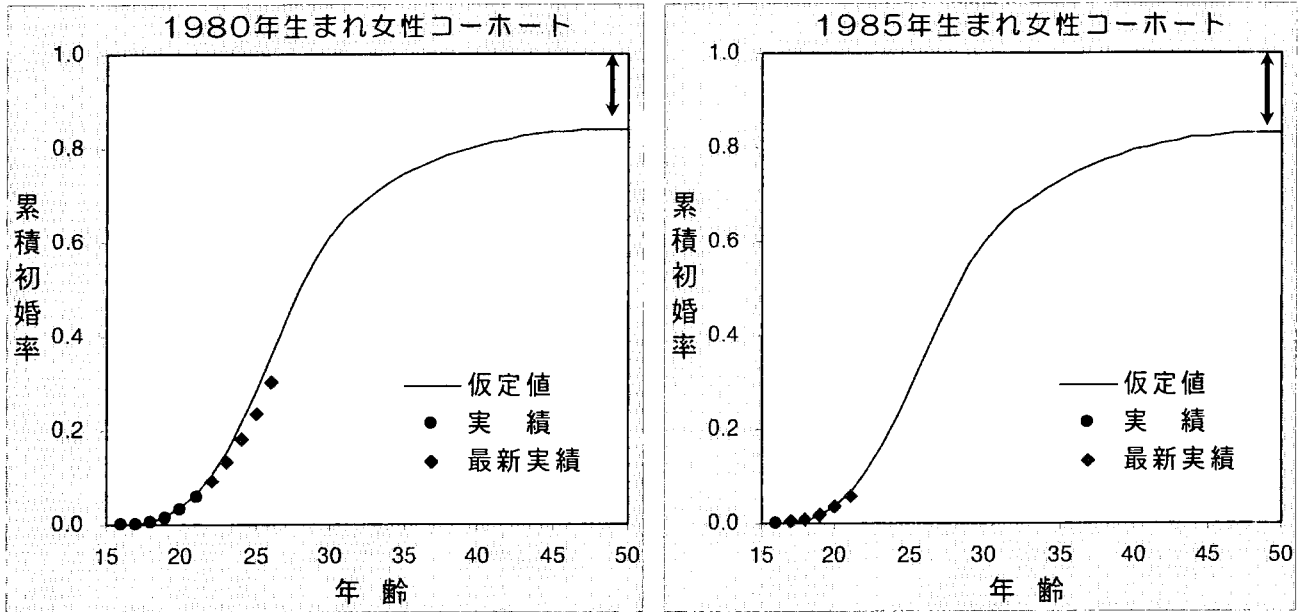
モデル = 一般化対数ガンマ分布モデル



※ 実績値は、新たに得られた届出遅れデータを元に再推定したものの。

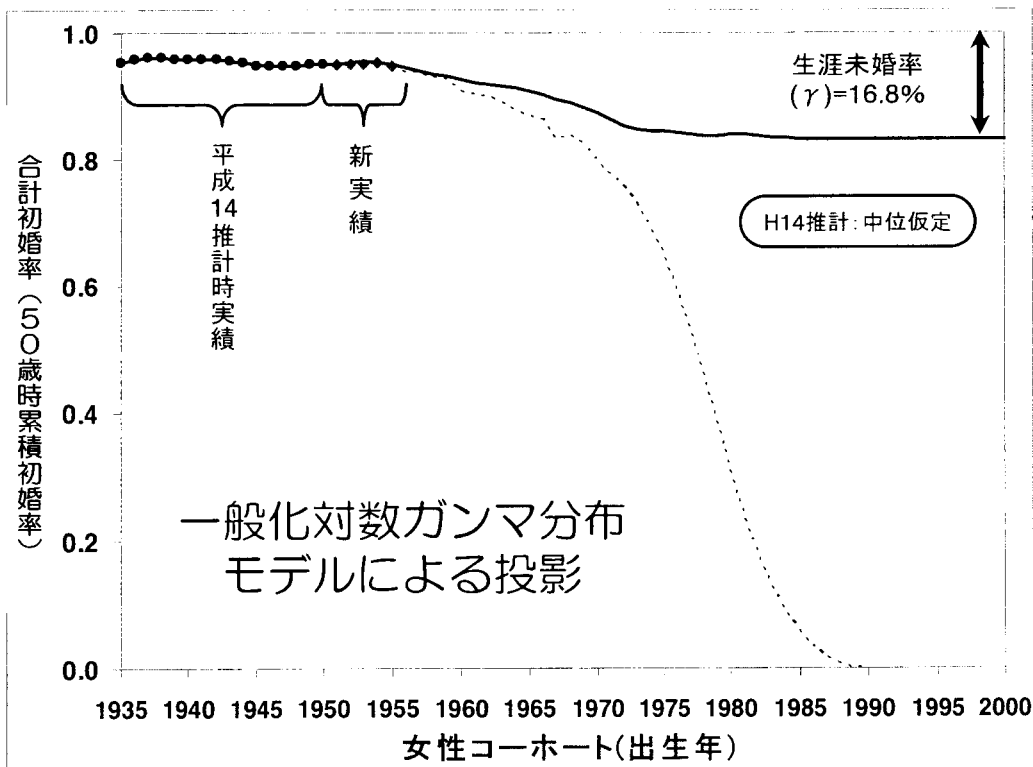
参照コーホートの仮定設定:生涯未婚率

モデル = 一般化対数ガンマ分布モデル



※ 実績値は、新たに得られた届出遅れデータを元に再推定したもの。

参照コーホートの仮定設定:生涯未婚率



参照コーホートの生涯未婚率仮定の設定

コーホート合計特殊出生率

$$(1 - \text{生涯未婚率}) \times \text{夫婦完結出生見数} \times \text{離死別効果係数}$$

平成14年推計



国勢調査における全国の年齢5歳階級別コーホート別未婚率の過去5年間の変化率を延長することによって推定(中位仮定 16.8%)。

次期推計



人口動態統計・婚姻統計による実績推移との整合性の検証を精密化

参照コーホートの生涯未婚率仮定の設定

コーホート合計特殊出生率

(女性の)平均初婚年齢

平成14年推計



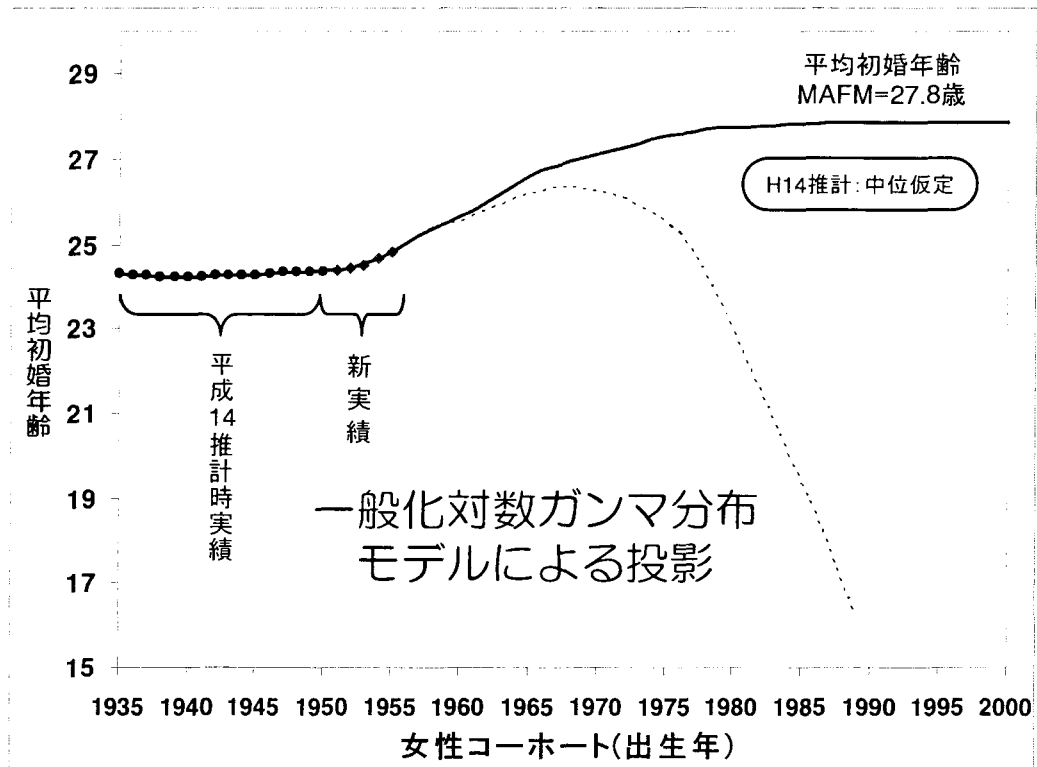
過去の実績による生涯未婚率と平均初婚年齢の関係を用いて生涯未婚率の仮定値に対応して求められた(中位仮定 27.8歳)。

次期推計

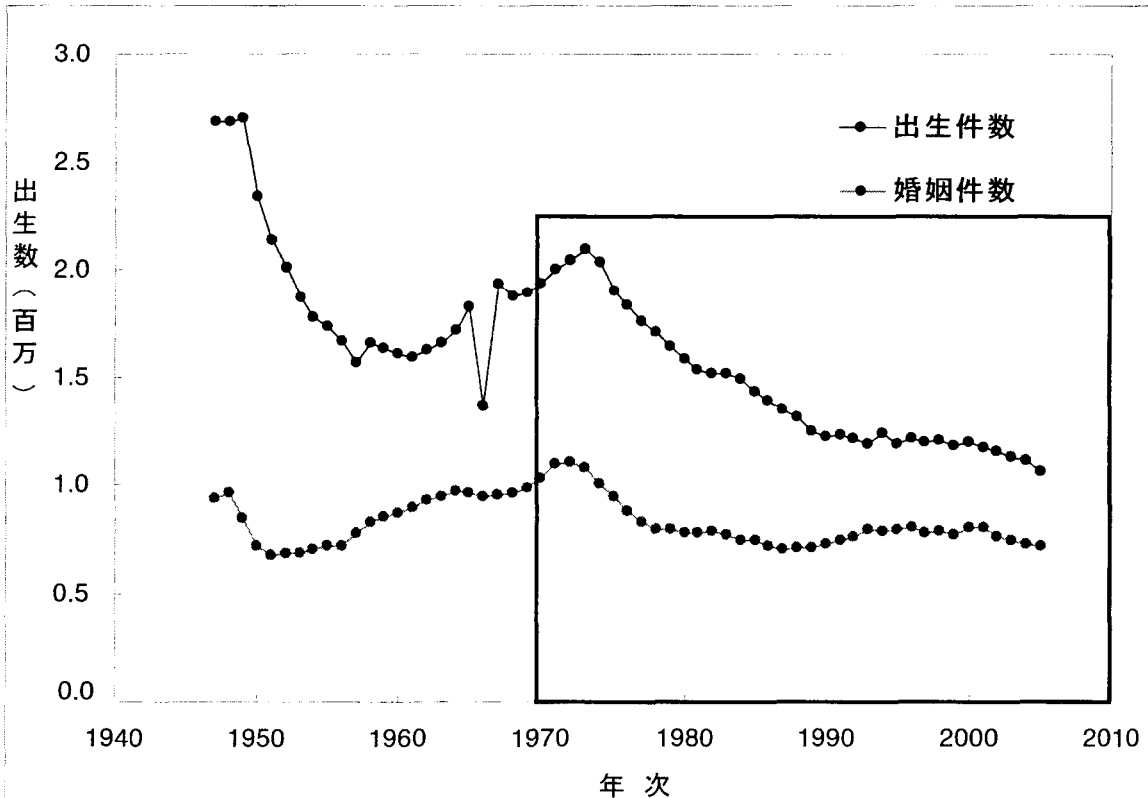


人口動態統計・婚姻統計による実績推移との整合性の検証を精密化

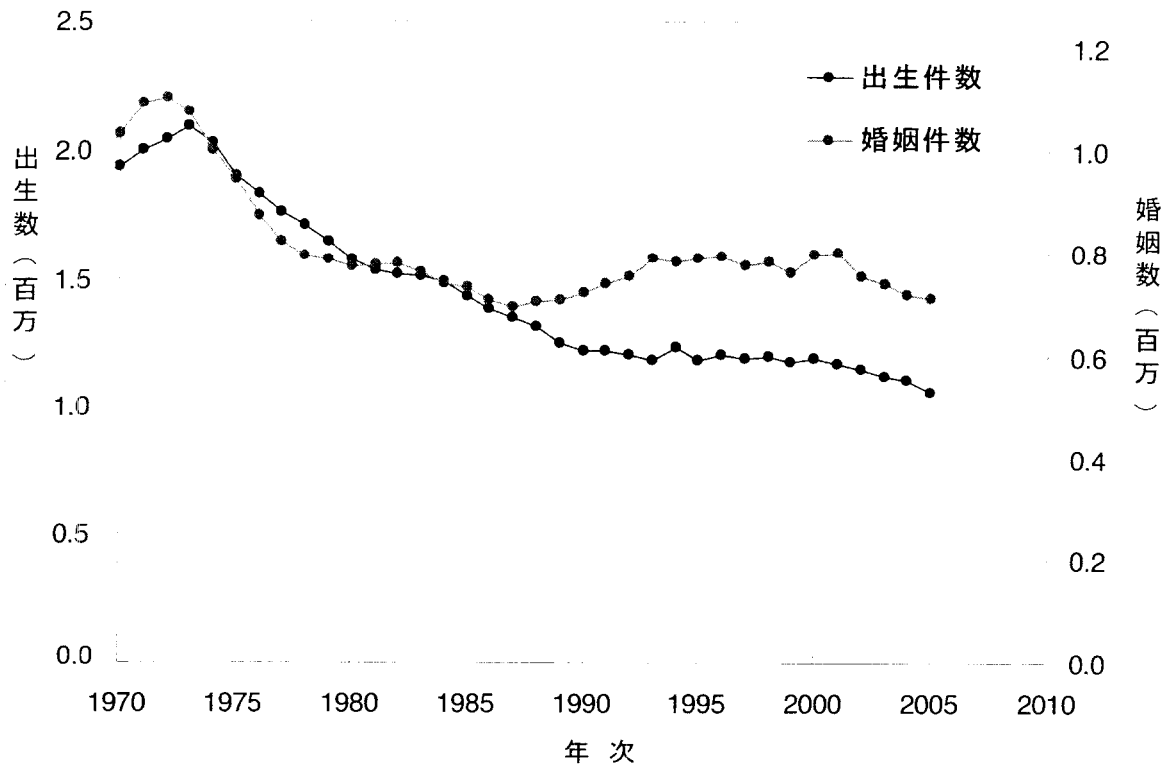
女性の平均初婚年齢の測定と観察



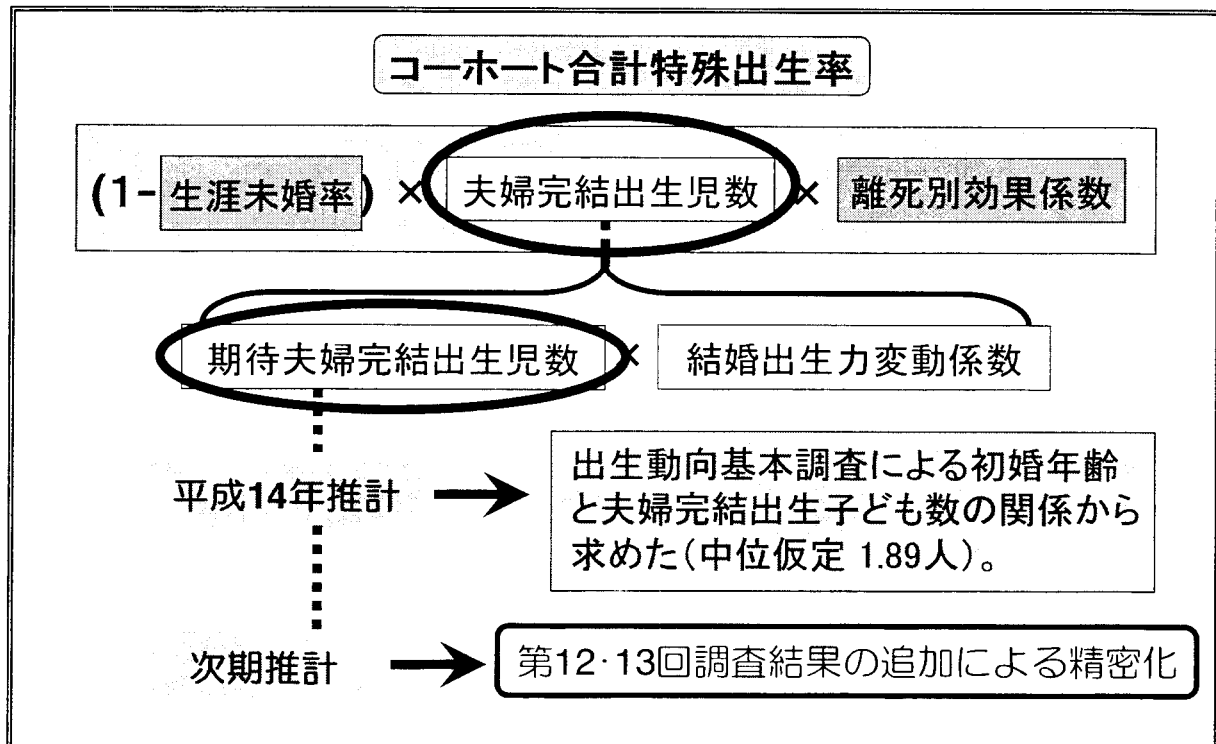
結婚と出生の動向



結婚と出生の動向



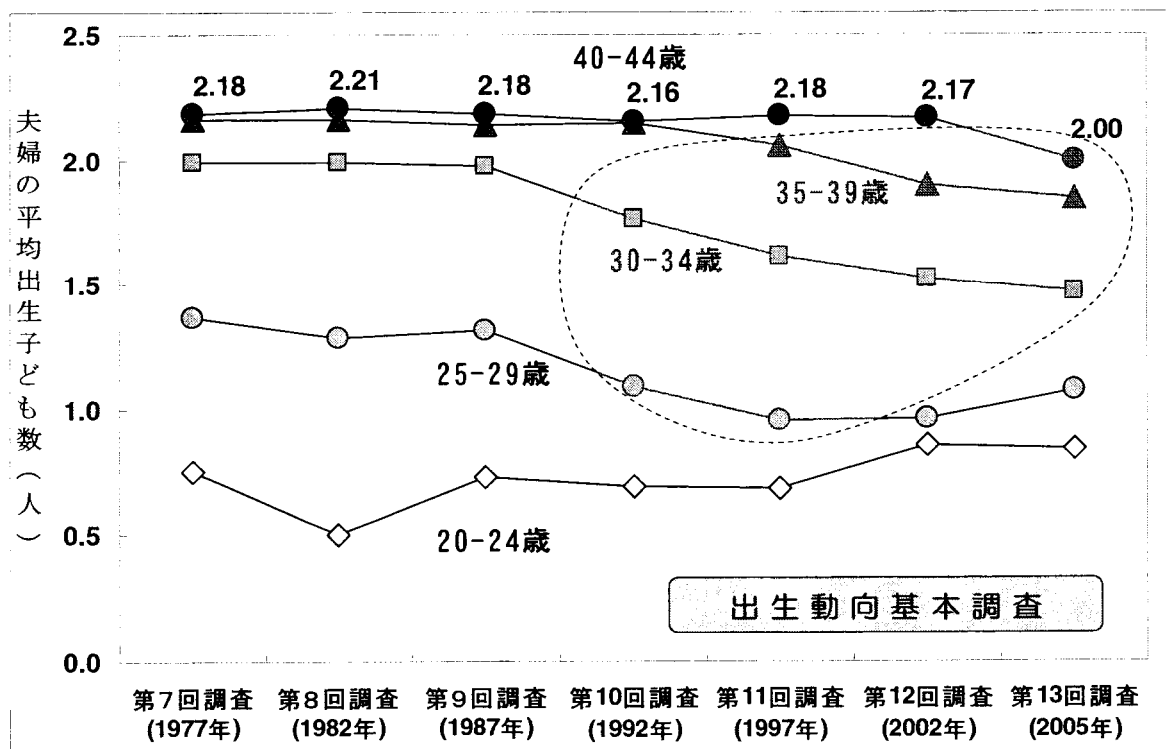
参照コーホートの夫婦出生力仮定の設定



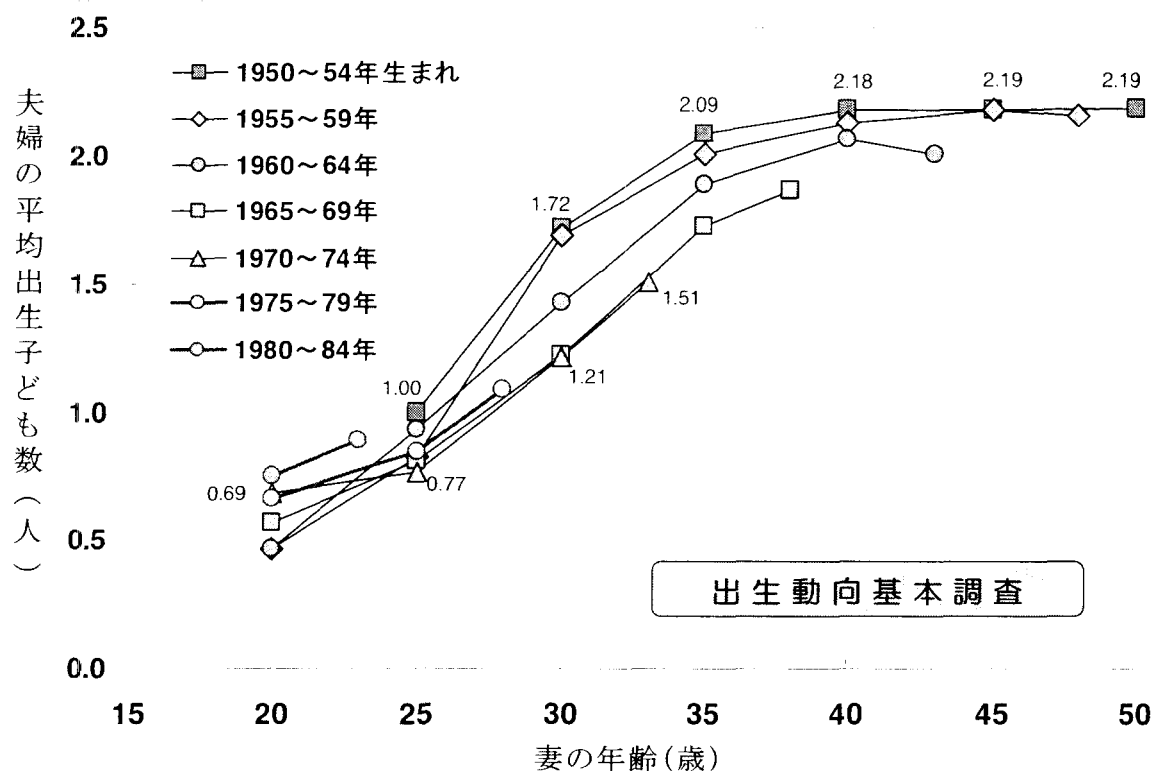
夫婦の出生

調査(調査年次)	完結出生児数
第1回調査(1940年)	4.27人
第2回調査(1952年)	3.50
第3回調査(1957年)	3.60
第4回調査(1962年)	2.83
第5回調査(1967年)	2.65
第6回調査(1972年)	2.20
第7回調査(1977年)	2.19
第8回調査(1982年)	2.23
第9回調査(1987年)	2.19
第10回調査(1992年)	2.21
第11回調査(1997年)	2.21
第12回調査(2002年)	2.23
第13回調査(2005年)	2.09

夫婦の出生(妻の年齢階層別推移)

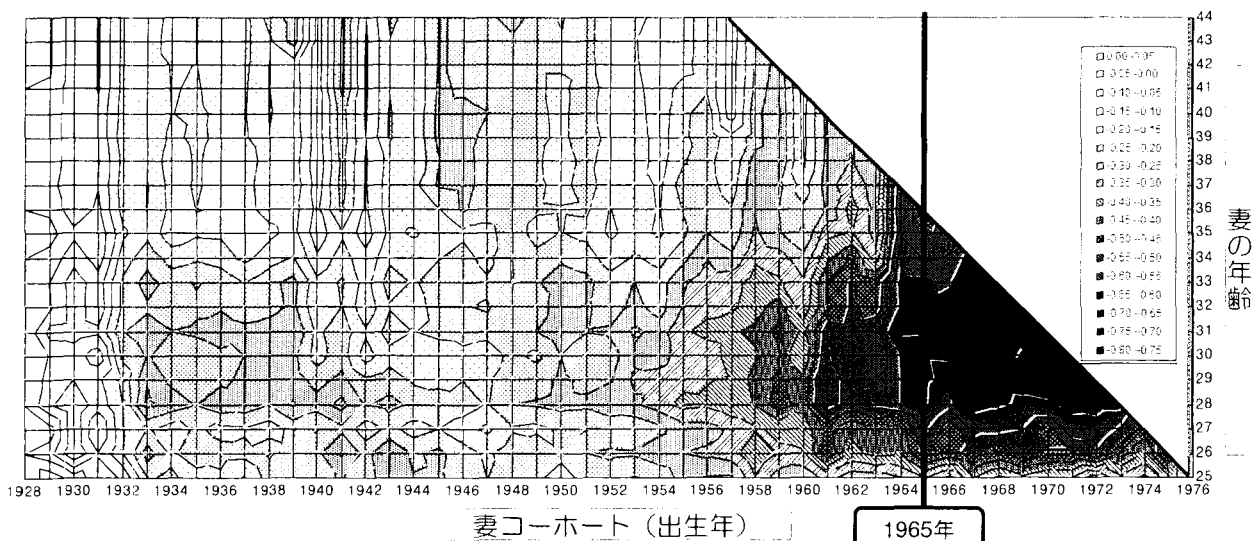


夫婦の出生(妻の年齢別推移)



夫婦の出生(妻コーホート別)

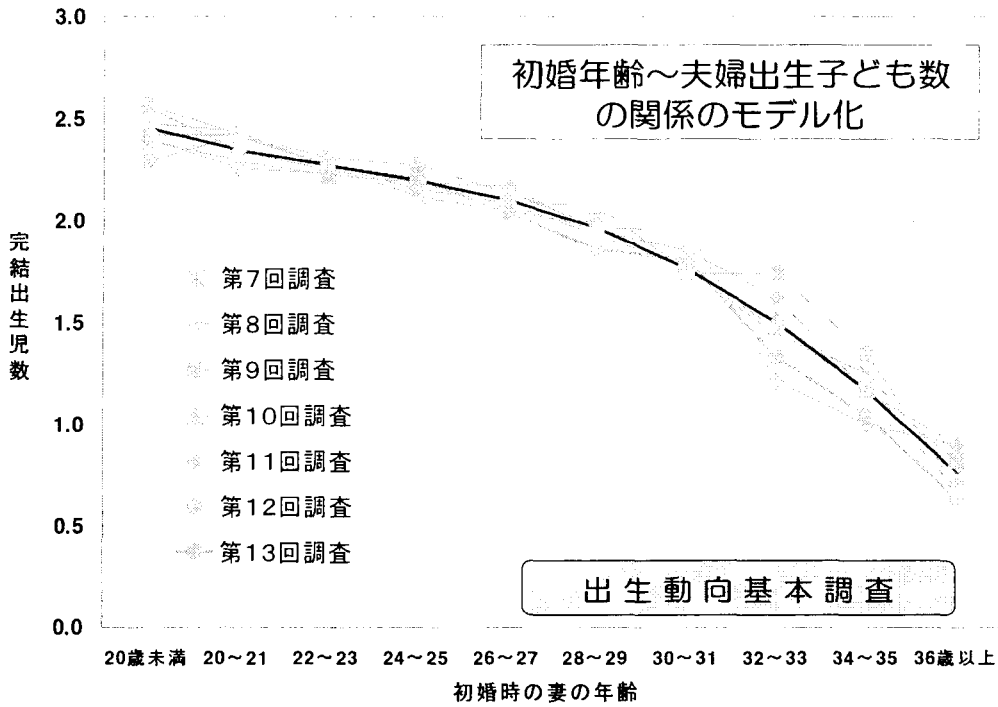
夫婦出生低下の観察



☆ 女性(妻)の年齢ごとに、各コーホートの夫婦の平均出生子ども数を1928年コーホートと比較し、差を図示したもの。低下の大きいところほど濃い色で示した。

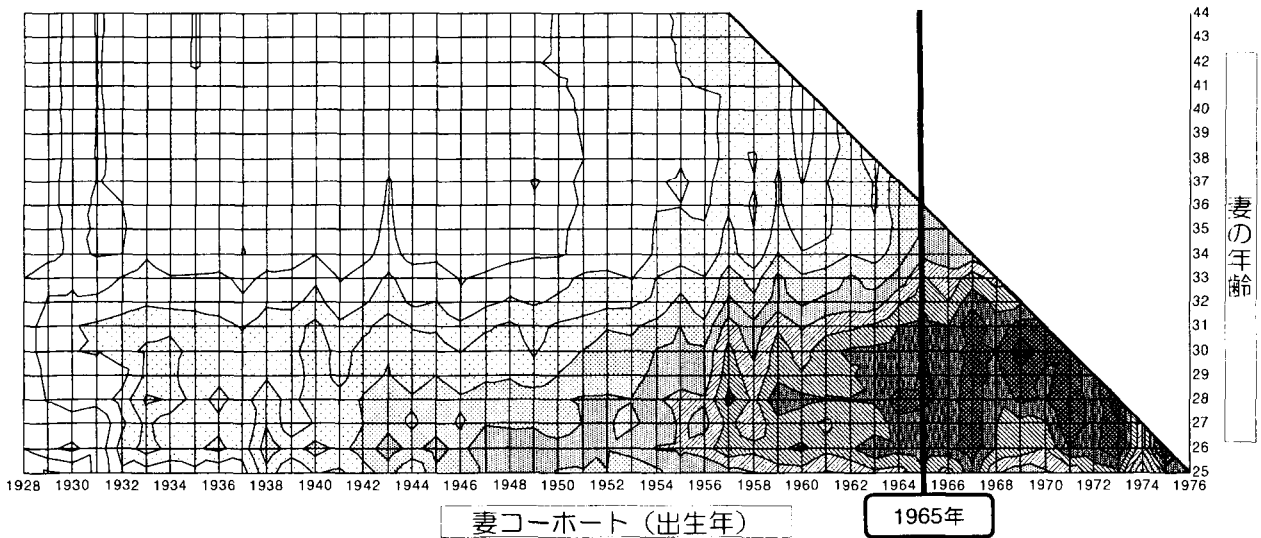
出生動向基本調査

初婚年齢～夫婦出生子ども数



夫婦の出生(妻コーホート別)

晩婚化による夫婦出生低下の観察

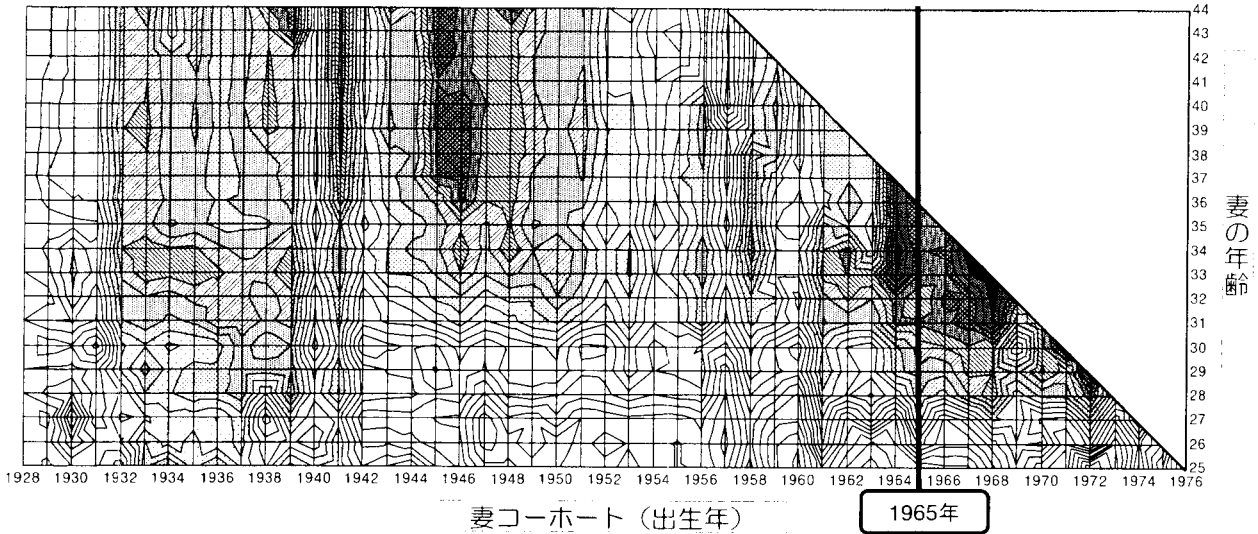


☆ 女性(妻)の年齢ごとに、各コーホートの夫婦の平均出生子ども数を1928年コーホートと比較し、女性の晩婚化に起因する低下を図示したもの。低下の大きいところほど濃い色で示した。

出生動向基本調査

夫婦の出生(妻コーホート別)

晩婚化効果を除去した夫婦出生低下の観察



☆ 女性(妻)の年齢ごとに、各コーホートの夫婦の平均出生子ども数を1928年コーホートと比較し、女性の晩婚化に起因する低下を除去した変化を図示したもの。低下の大きいところほど濃い色で示した。

出生動向基本調査

初婚年齢～夫婦出生子ども数

初婚年齢～夫婦出生子ども数の関係のモデル化

